

29年4月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成29年 4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
入荷動向	国産材製材品	8.3	△ 16.7	△ 16.7
	外材製材品	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
	その他	0.0	△ 12.5	△ 12.5
販売動向	国産材製材品	0.0	△ 8.3	△ 8.3
	外材製材品	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	その他	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
在庫動向	国産材製材品	16.7	△ 8.3	△ 8.3
	外材製材品	0.0	△ 8.3	△ 8.3
	その他	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5

・国産材製材品の入荷、販売、在庫は総じて減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	△ 8.3	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	△ 8.3
	間柱	0.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	△ 8.3	△ 8.3
	平割	0.0	△ 8.3	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	0.0	0.0	0.0
	土台角 12×4	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	0.0	10.0	10.0	
米マツ割物	12.5	12.5	12.5	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	20.0	10.0	10.0	

・スギ製材品の価格は総じて保合ないしやや弱含み。

・ヒノキ製材品は横ばいで推移。

・米マツ（平角・割物）及び北洋アカマツタルキは強含み。北洋エゾマツタルキは横ばい。

モニターからのコメント

(荷動き)

・国産材、外材ともに入荷順調、販売はスギ材が防音工事・その他が少なくやや減少した。この3月期売上減少のため国産材在庫がやや増加（関東）。

・入荷は国産材、外材ともに低調。販売は需要不足。在庫は入荷が減少しているが対応できる状態（中部）。

(価格動向)

- スギ柱角 (KD10.5cm) 58,000円/m³、(KD12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北材グリーンラフ) 40,000円/m³、母屋角 (東北材二等) 30,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 60,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 2,800円/束、(KD) 4,800円/束、スギヌキ (東北) 40,000円/束、秋田材50,000円/束 スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 43,000円/m³、ヒノキ柱角 (KD)・土台角10.5cm、12.5cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD 65,000円/m³、米マツ割物AD単価 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (アSEMBル単価) (S) 72,000円/m³、(P) 60,000円/m³、(バンドル単価) (S) 67,000円/m³、(P) 57,000円/m³。(関東)
- 北洋アカマツタルキは、ロシア材の出材がまだ少ない (大阪)。
- 地場の木材店、工務店にあまり工事が落ちてこないため停滞感あり (九州)。